

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成28年度純損失……▲272,764千円 →▲182,683千円(対前年度差額)
 (平成27年度純損失……▲90,081千円)

・収益については、入院・外来診療単価、入院患者数の増加により医業収益が増加したため、前年度比で約2%の増加となった。
 ・費用については、職員の増加に伴い給与費、医業収益との連動に伴い材料費等が増加し、また、新生児センター改修及び高額医療機器の更新による減価償却費が増加したため、前年度比で約3%の増加となった。
 ・収支差については、約2億7千万円の赤字であった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H27年度	H28年度	H28－H27	対前年度比	参 考
収益	223.1	228.1	5.0	102%	診療単価 (H27) (H28)
営業収益	220.7	226.1	5.4	102%	入院 77,948円 → 78,044円
うち入院収益	147.8	148.0	0.2	100%	外来 16,023円 → 17,458円
うち外来収益	54.5	58.3	3.8	107%	
うち運営費負担金	11.9	12.9	1.0	108%	患者数 (H27) (H28)
うち重症心身障がい児施設収益	0.0	0.8	0.8	—	入院 189,348人 → 189,660人
営業外収益	2.1	2.0	▲0.1	95%	外来 340,070人 → 333,749人
うち運営費負担金	1.4	1.4	0.0	100%	
臨時利益	0.3	0.0	▲0.3	0%	一般病床利用率 (H27) (H28)
費用	224.0	230.8	6.8	103%	87.7% → 87.0%
営業費用	212.3	220.7	8.4	104%	
うち給与費	99.6	102.4	2.8	103%	
うち材料費	63.6	65.6	2.0	103%	
うち経費	29.3	28.1	▲1.3	96%	
うち減価償却費	18.0	20.1	2.1	112%	
うち重症心身障がい児施設費用	0.5	3.1	2.7	678%	
営業外費用	11.3	10.1	▲1.2	89%	
うち支払利息	2.1	2.1	0.0	100%	
うち控除対象外消費税	9.2	8.0	▲1.2	87%	
臨時損失	0.3	0.0	▲0.3	0%	
収支差	▲0.9	▲2.7	▲1.8	—	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

※ 重症心身障がい児施設:平成28年3月供用開始

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

- うち入院収益 (0.2億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの
- うち外来収益 (3.8億円増) 診療単価の増加によるもの
- うち運営費負担金 (1.0億円増) 重症心身障がい児施設運営費の増加によるもの

イ 営業費用

- うち給与費 (2.8億円増) 職員の増加によるもの
- うち材料費 (2.0億円増) 医業収益との連動によるもの
- うち減価償却費 (2.1億円増) 新生児センター改修及び高額医療機器更新等によるもの
- うち重症心身障がい児施設費用 (2.7億円増) 重症心身障がい児施設本格始動に伴う入所収益との連動によるもの

ウ 営業外費用

- うち控除対象外消費税 (1.2億円減) H27:すこやか棟建設にかかる固定資産取得によるもの